事例No.	1426
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	茨城県大子町

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・ICT

事例種類	人材育成・確保

事例内容・タイトル

林業現場の担い手育成・確保の支援

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

茨城県　大子町（林業現場の担い手育成・確保の支援）

- 大子町では、経営や管理が適切に行われていない森林が偏在している可能性があり、令和元年度は、森林経営管理制度に基づく意向調査を行うための準備を進め、令和２年度は試行的に意向調査（96人、407筆、239.5513ha）を実施した。なお、令和３年度以降も引き続きの調査及び市町村森林経営管理事業等を実施していくこととしている。
- また、高齢化等に伴う従事人口減少や林業就業環境のネガティブなイメージ等により、担い手の確保が困難になっているため、町内高等学校の森林科学コースや林業就業者への支援を行い、担い手の育成、確保、また、継続して長く林業に従事できるような取組を行っていく方針。そのため、令和２年度は、122人の林業従事者に安全防護衣等の購入補助をするとともに、30名の生徒等へ林業の授業で利用する安全防護衣等を支援し、林業大学への進学者等もでた。また、町内の林業事業体等を集め3回の譲与税の使途に関する意見交換を実施した。

□ 事業内容

1　林業従事者就業環境改善事業

- 林業従事者の安全対策を推進し，林業における災害発生率の軽減を図るため防護衣等の購入補助（上限10万円、補助率3/4）

【事　業　費】4,616千円（全額譲与税）

【実　　績】 122名への補助

2　将来の森林整備担い手育成事業

- 町内高等学校の森林科学コースへ通う生徒が、林業を学ぶために使用する防護衣等についての購入補助（補助率10/10）
- 山林でのドローン活用等、資格取得の支援（補助率10/10）

【事　業　費】2,816千円（全額譲与税）

【実　　績】生徒（３０人）への支援



（事業１：補助を受け購入した防護衣等）



（事業２：高校でのドローン授業）

□ 事業スキーム

1　**林業従事者就業環境改善事業**

町 → 補助 → 林業従事者 → 事業

2　**将来の森林整備担い手育成事業**

町 → 補助 → 生徒（保護者） → 授業

町内森林整備の推進
労働災害発生率の軽減

林業への進学や就業

□ 工夫・留意した点

- 林業に興味を持ってもらえるよう、高校生の授業にドローン等を取り入れる取組に支援を行った。
- 林業事業体と森林環境譲与税を活用した町の林業振興について意見交換を行い、 連携による事業推進を図っている。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	66,166千円
②私有林人工林面積（※１）	13,802ha
③林野率（※２）	80%
④人口（※３）	18,053人
⑤林業就業者数（※３）	202人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より